

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ  
 コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 前澤友作  
 (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,071	25.5	529	4.1	534	5.0	302	3.9
21年3月期第1四半期	2,447	—	508	—	508	—	290	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	830.11	823.13
21年3月期第1四半期	2,438.16	2,377.27

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	8,277	5,338	64.4	14,648.46
21年3月期	8,119	5,342	65.7	14,663.65

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 5,334百万円 21年3月期 5,338百万円

(注)前連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第1四半期の対前年同期増減率については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	850.00	850.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,262	28.9	885	△10.0	890	△10.4	497	△11.8	1,365.12
通期	16,300	52.4	3,120	41.7	3,130	40.9	1,750	37.7	4,806.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
  - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |          |             |          |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 364,161株 | 21年3月期      | 364,071株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | —株       | 21年3月期      | —株       |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 364,084株 | 21年3月期第1四半期 | 119,302株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えください。
2. 平成21年3月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気動向の底打ち宣言など、従来からの世界的な景気後退基調から、僅かながらも徐々に上向きの傾向が表れてきました。また、個人消費においても持ち直しの兆しがみられるものの、雇用情勢は依然として厳しい状況が続いており、消費の先行き不透明感は拭えない状況となっております。そして、当社グループが軸足を置く衣料品小売業界におきましても、消費者による選択的支出抑制の志向が鮮明となるなど、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当連結会計年度を挑戦の一年と位置づけ、主力のEC事業により一層注力してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、「A BATHING APE®」によるモールパーク「BAPE®LAND」をはじめ、「MARGARET HOWELL」、「TOMMY/tommy girl」など新規6ショップの出店、平成21年4月1日より実施している1年間を通じた全商品送料無料キャンペーンなど、お客様へ提供するサービスの更なる強化を図ってまいりました。これら施策が奏功し、会員数を順調に増加させることができました。平成21年6月末時点の会員数は1,381千人（前連結会計年度末比116千人増）、同様にアクティブ会員数（注1）は483千人（同47千人増）となっております。

また、前連結会計年度より開始したメーカー自社EC支援事業（注2）におきましては、ZOZOTOWNでも人気の2ブランド「And A」、「HYSTERIC GLAMOUR」の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。

以上の結果、売上高は3,071百万円と前年同期比624百万円（前年同期比25.5%増）の増収、営業利益は529百万円と前年同期比20百万円（前年同期比4.1%増）の増益、経常利益は534百万円と前年同期比25百万円（前年同期比5.0%増）の増益、四半期純利益は302百万円と前年同期比11百万円（前年同期比3.9%増）の増益となりました。

（注1）アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

（注2）メーカー自社EC支援事業：当社ECサイト「ZOZOTOWN」運営のために構築している自社システム、物流インフラを活用し、アパレルメーカーが独自に運営するECサイトのシステム開発、デザイン制作、物流請負、マーケティング支援など、必要に応じて各種フルフィルメント関連業務を支援するものであります。当該受託事業は、当社グループの将来戦略の一つである収益モデルの多角化の一環として行うものであり、ファッション関連マーケットにおけるBtoB領域への事業展開の端緒となるものであります。

なお、事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (1) EC事業

## a. ストア企画開発事業

平成21年6月末現在、ストア企画開発事業では34ショップを運営しており、当第1四半期の売上高は1,904百万円と前年同期比286百万円（前年同期比17.7%増）の増収、売上高全体に占める割合は62.0%（前年同期66.1%）となりました。

また、同期間における商品取扱高（販売価格ベース）は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は28.9%（前年同期33.0%）となりました。

## b. ストア運営管理事業

平成21年6月末現在、ストア運営管理事業では72ショップを運営しており、当第1四半期の売上高は1,110百万円と前年同期比334百万円（前年同期比43.0%増）の増収、売上高全体に占める割合は36.2%（前年同期31.7%）となりました。

また、同期間における商品取扱高（販売価格ベース）は4,677百万円と前年同期比1,394百万円（前年同期比42.5%増）の増収、商品取扱高全体に占める割合は71.1%（前年同期67.0%）となりました。

メーカー自社EC支援事業につきましては、平成21年6月末現在、3件の受託業務を行っておりますが、金額(売上高及び商品取扱高)が僅少なため、上記ストア運営管理事業の数値に含めております。

## (2) その他

その他の売上として、メディア事業、カード事業及び初期出店料等がありますが、当第1四半期におけるその他の売上高は56百万円と前年同期比3百万円（前年同期比7.5%増）の増収、売上高全体に占める割合は1.8%（前年同期2.2%）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、7,386百万円となりました。これは、売掛金が593百万円増加、有価証券が300百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、891百万円となりました。これは、工具器具備品が40百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、8,277百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、2,734百万円となりました。これは、受託販売預り金が471百万円、賞与引当金が41百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、204百万円となりました。これは、退職給付引当金が17百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、2,939百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、5,338百万円となりました。これは、当四半期純利益の増加による利益剰余金の増加302百万円、剰余金の配当による減少309百万円等によるものであります。

### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、4,600百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は153百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益534百万円の計上による増加要因があったこと、一方、主な減少要因として6月末から実施したサマーセールに伴う第1四半期末時点での売上債権の増加593百万円、法人税等の支払額639百万円があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は49百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出48百万円があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は309百万円となりました。これは、主に配当金の支払額309百万円があっ

たことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、全商品送料無料キャンペーンなどの施策により、新規会員数及びアクティブ会員数が順調に増加し、それに伴い商品取扱高及び売上高も順調に推移させることができました。また、広告宣伝費や外注人件費等経費の一部未執行により、当第1四半期連結累計期間においては、営業利益、経常利益及び当四半期純利益について当初見込みを上回る実績となりました。更に、足下の状況につきましても、新規獲得会員数の伸びや6月下旬から開始したサマーセールが順調に推移しており、当社が提供するサービスを通じ、「洋服をインターネットで購入するという行為が当たり前の時代」がきていることをあらためて実感しております。

一方、第2四半期におきましては、引き続き新規会員数及びアクティブ会員を増加させるために積極的な広告宣伝を実施していくこと等第1四半期において未執行だった経費の発生を見込んでおります。また、今後の業績においては、8月以降本格化する秋物商材の立ち上がりの売上を確実に達成していくことが重要であると考えております。

以上に加え、依然として個人消費の先行き不透明感が拭えない現状を鑑み、平成21年5月11日に発表した平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値に変更はありません。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
  
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,600,387	4,813,086
売掛金	1,956,458	1,363,434
有価証券	—	300,000
商品	524,241	549,473
その他	305,167	254,792
流動資産合計	7,386,254	7,280,787
固定資産		
有形固定資産	441,772	395,204
無形固定資産	63,135	66,278
投資その他の資産	386,550	377,589
固定資産合計	891,457	839,072
資産合計	8,277,712	8,119,859
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	318,437	412,383
受託販売預り金	1,450,818	979,493
未払法人税等	287,661	652,134
賞与引当金	112,384	70,984
ポイント引当金	166,459	146,298
その他	399,150	334,598
流動負債合計	2,734,911	2,595,892
固定負債		
退職給付引当金	108,068	90,784
役員退職慰労引当金	96,148	90,206
固定負債合計	204,216	180,990
負債合計	2,939,128	2,776,883
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,355,668	1,355,447
資本剰余金	1,323,867	1,323,646
利益剰余金	2,654,285	2,661,516
株主資本合計	5,333,822	5,340,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	576	△2,003
評価・換算差額等合計	576	△2,003
新株予約権	4,186	4,368
純資産合計	5,338,584	5,342,976
負債純資産合計	8,277,712	8,119,859

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,447,194	3,071,450
売上原価	976,156	1,245,647
売上総利益	1,471,038	1,825,803
販売費及び一般管理費	962,095	1,296,074
営業利益	508,942	529,728
営業外収益		
受取利息	20	2,827
受取配当金	—	820
その他	310	659
営業外収益合計	330	4,307
営業外費用		
株式交付費	180	15
創立費	563	—
営業外費用合計	743	15
経常利益	508,529	534,019
税金等調整前四半期純利益	508,529	534,019
法人税、住民税及び事業税	229,549	282,295
法人税等調整額	△11,897	△50,505
法人税等合計	217,652	231,790
四半期純利益	290,877	302,229

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	508,529	534,019
減価償却費	20,478	27,568
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,289	41,400
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△573	20,160
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,539	17,284
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	474	5,942
受取利息及び受取配当金	△20	△3,647
売上債権の増減額 (△は増加)	△278,944	△593,023
たな卸資産の増減額 (△は増加)	18,605	25,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△130,542	△93,946
受託販売預り金の増減額 (△は減少)	205,234	471,324
未払金の増減額 (△は減少)	△22,515	△1,136
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,585	△9,466
その他	50,104	41,012
小計	374,074	482,664
利息及び配当金の受取額	20	3,478
法人税等の支払額	△507,835	△639,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,741	△153,843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△78,175	△48,609
無形固定資産の取得による支出	△817	△432
敷金の差入による支出	△1,200	—
その他	△705	△598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,898	△49,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	420	245
配当金の支払額	△240,784	△309,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,364	△309,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△455,003	△512,698
現金及び現金同等物の期首残高	4,392,477	5,113,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,937,473	4,600,387

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。